

Market Watching

発表日: 2019年12月9日(月)

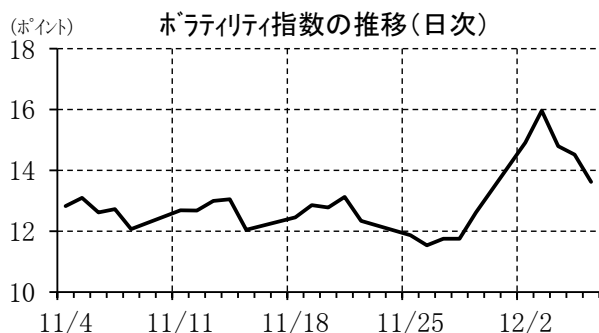
15日の関税引き上げ期限が頭から離れない(マーケットウィークリー)
 ~英総選挙にFOMC、増税後の短観。まさに今年の相場の天王山~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
12月2日(月)	日本: 法人企業統計 (7-9月) ・ 設備投資 (除ソフト)	+7.7%	+4.4%	▲1.7%	前年比
	・ 経常利益	▲5.3%	▲2.0%	▲12.0%	前年比
	日本: 新車販売台数 (11月) ・ 乗用車	▲14.5%	—	▲27.5%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数 (11月)	51.8	51.5	51.7	ポイント
12月3日(火)	米国: ISM製造業景気指数 (11月)	48.1	49.5	48.3	ポイント
12月3日(火)	豪州: 金融政策委員会	0.75%	0.75%	0.75%	RBA政策金利誘導目標
	南ア: 実質GDP (7-9月期)	+0.1%	+0.4%	+0.9%	前年比
	ブラジル: 実質GDP (7-9月期)	+1.2%	+1.0%	+1.0%	前年比
	米国: 自動車販売台数 (10月)	1,709	1,680	1,660	万台
12月4日(水)	豪州: 実質GDP (7-9月期)	+1.7%	+1.6%	+1.4%	前年比
	米国: ADP雇用統計 (11月)	+67	+140	+125	前月差、千人
	米国: ISM非製造業景気指数 (11月)	53.9	54.5	54.7	ポイント
	カナダ: 金融政策委員会	1.75%	1.75%	1.75%	翌日物貸出金利
12月5日(木)	インド: 金融政策委員会	5.15%	4.90%	5.15%	レート
	ユーロ: 小売売上高 (10月)	▲0.6%	▲0.4%	+0.1%	前月比
	米国: 貿易収支 (10月)	▲472	▲531	▲525	億ドル
12月6日(金)	日本: 毎月勤労統計 (10月) ・ 現金給与総額	+0.5%	+0.2%	+0.8%	前年比
	日本: 家計調査 (10月) ・ 全世帯実質消費支出	▲5.1%	▲3.4%	+9.5%	前年比
	米国: 雇用統計 (11月) ・ 非農業就業者数	+266	+188	+128	前月差、千人
	・ 失業率	3.5%	3.6%	3.6%	
	・ 時間あたり賃金	+3.1%	+3.0%	+3.0%	前年比
12月7日(土)	米国: ミシガン大学消費者信頼感指数 (12月速報値)	99.2	97.0	96.8	ポイント
12月8日(日)	中国: 貿易統計 (11月) ・ 輸出	▲1.1%	+0.6%	▲0.9%	前年比
	・ 輸入	+0.3%	—	▲3.5%	前年比



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.836	+6.1	+0.6	▲114.5	1.612	1.595	1.878
日本	-0.015	+8.0	+7.5	▲7.5	-0.081	-0.164	-0.126
ドイツ	-0.286	+7.4	+4.7	▲52.2	-0.321	-0.455	-0.291
豪州	1.127	+9.3	▲14.4	▲132.4	1.147	1.063	1.363
株価							
NYダウ	28015.06	▲0.1	+1.9	+12.3	27815	27101	26543
日経平均	23354.40	+0.3	+0.2	+8.6	23290	22295	21730
ユーロSTOXX50	3692.34	▲0.3	+0.1	+21.2	3687	3576	3473
上海総合	2912.01	+1.4	▲2.2	+11.8	2915	2941	2968
為替相場							
ドル/円	108.58	▲0.8	▲0.4	▲3.6	108.91	108.09	108.86
ユーロ/円	120.12	▲0.4	▲0.4	▲6.3	120.31	119.36	121.48
豪ドル/円	74.28	+0.3	▲1.0	▲8.9	74.33	73.59	75.30
ユーロ/ドル	1.1062	+0.4	▲0.0	▲2.7	1.105	1.104	1.116
商品市況							
WTI	59.20	+7.3	+5.1	+15.0	57.26	56.00	57.59
金	1459.1	▲0.4	▲2.3	+17.8	1469	1493	1405

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (12/2~12/6) の金融市場は、米中貿易交渉に関する報道に一喜一憂したほか、強弱入り交じった米中の経済指標にも振り回され、上下に振れながらも方向感には欠ける展開となった。経済指標に関しては、中国のPMI 製造業景気指数が予想を上回った一方で、米ISMは予想を下回るなど、市場の事前予想を覆す結果が続いた。最終的には、週末に発表された米雇用統計が予想を上回る結果となったことで、景気に対する先行きの不安感はやや弱まった格好となった。

今週のマーケットは、スマートフォンやノートPCなど主要耐久消費財の対中関税引き上げ期限が15日 (日曜日) に迫るなか、この動向を固唾を飲んで見守る展開となろう。もっとも、それ以外にもFOMC、英国総選挙、日銀短観など、その後の市場の方向性を大きく左右するような注目度が高く重要な材料は多い。FOMCに関しては、連続利下げが一旦休止し、金利は据え置かれる可能性が高い。市場に影響を及ぼすのは声明文や議長の記事会見で、国際情勢などが不安定化するような環境では利下げが再開されるなど、機敏で柔軟な対応を執る用意と覚悟があるかどうかといった点に注目が集まる。英議会選挙については、与党保守党が第1党になる可能性が高いが、焦点は単独過半数を取れるかどうか。単独過半数となれば、来年1月末のEUからの円満離脱の可能性が高まる。しかし、単独過半数を取れず、連立政権となればこれが難しくなってくる。その場合、1月末に向けて市場は再び英議会に翻弄されるリスクが出てくる。日銀短観は、大企業製造業、非製造業の業況判断DIがどこまで低下するか、3ヶ月後の予測DIも含めてマイナス圏突入はあるのかどうかのポイントとなろう。いずれにせよ、米中合意のニュースがない限り、市場の動きは不安定で、リスクを避けるような展開が見込まれる。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
12月9日(月)	日本：実質GDP（7-9月二次速報値）	★	+0.6%	+0.2%	前期比年率 億円、原数値
	日本：国際収支統計（10月）・經常収支		+18,104	+16,129	
	日本：景気ウォッチャー調査（11月）・先行き判断DI	★	44.6	43.7	
12月10日(火)	中国：消費者物価指数（11月）	★	+4.2%	+3.8%	前年比
12月11日(水)	日本：企業物価指数（11月）		+0.1%	+1.1%	前月比
	日本：法人企業景気予測調査（10-12月）	★★	-	▲0.2	BSI大企業製造業
	米国：消費者物価指数（11月）・総合 ・コア	★	+2.0%	+1.8%	前年比
		★★	+2.3%	+2.3%	前年比
	米国：FOMC・上限金利 ・下限金利 ・パウエルFRB議長記者会見	★★★★	1.75%	2.00%	FF金利
		★★★★	1.50%	1.75%	FF金利
		★★★★			
ブラジル：金融政策委員会	★	4.50%	5.50%	政策金利（Selic）	
12月12日(木)	日本：機械受注統計（10月）・船電除く民需	★	▲1.6%	+5.1%	前年比
	フィリピン：金融政策決定会合	★	4.00%	4.00%	翌日物リバースポ金利
	スイス：金融政策決定会合		▲0.75%	▲0.75%	SNB要求預損金金利
	ユーロ：鉱工業生産（10月）		▲0.5%	+0.1%	前月比
	トルコ：金融政策委員会	★	12.50%	14.00%	1週間物レボ金利
	ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金フリティ金利 ・ラガルト総裁記者会見	★★★★	0.00%	0.00%	
		★★★★	▲0.50%	▲0.50%	
★★★★					
12月13日(金)	日本：日銀短観（12月）・大企業製造業業況判断 ・大企業非製造業業況判断	★★★★	+3	+5	DI
		★★★★	+16	+21	DI
	米国：小売売上高（11月）・全体 ・除自動車	★★★★	+0.4%	+0.3%	前月比
		★★	+0.4%	+0.2%	前月比
12月14日(土)	-				
12月15日(日)	-				

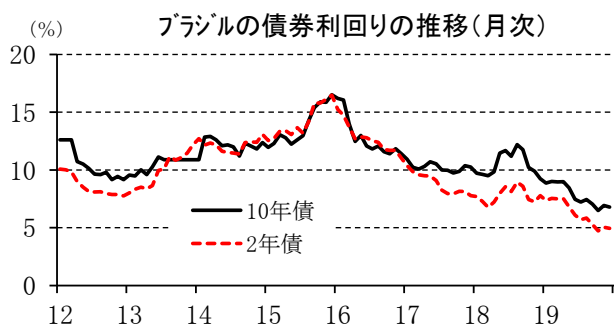
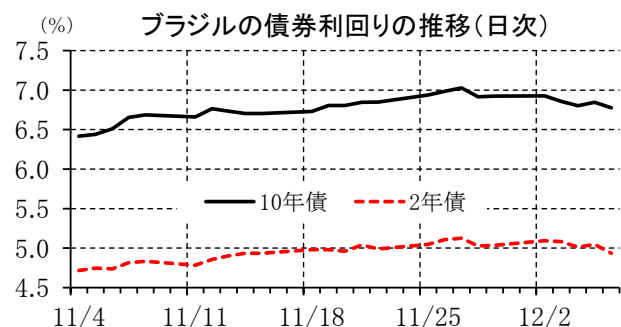
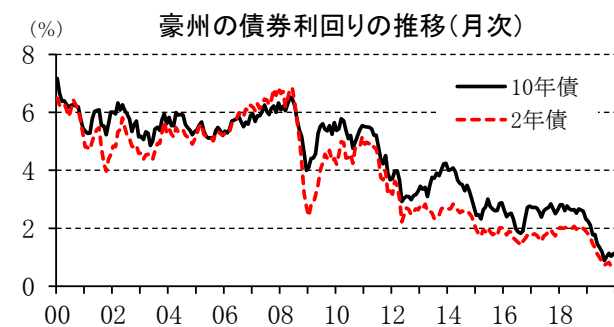
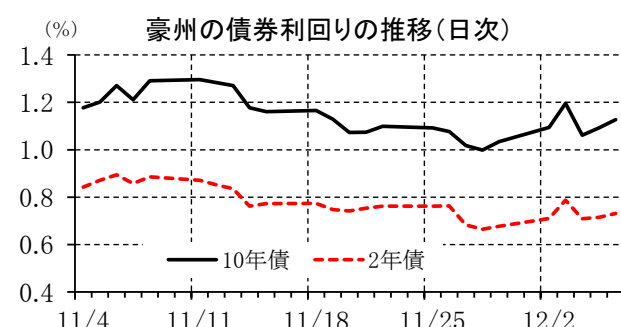
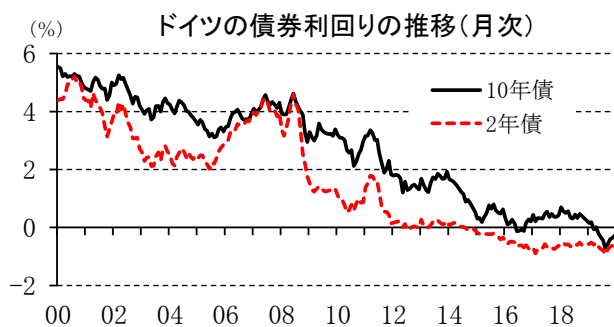
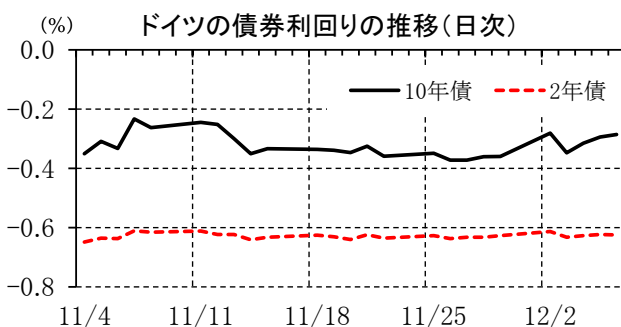
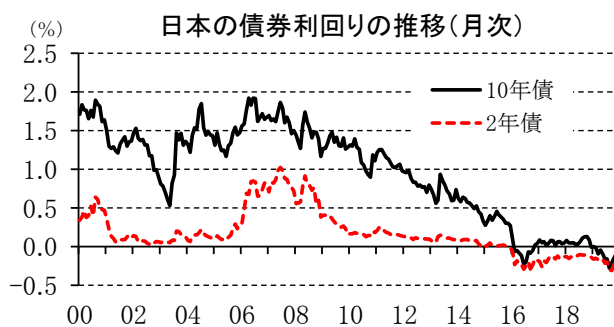
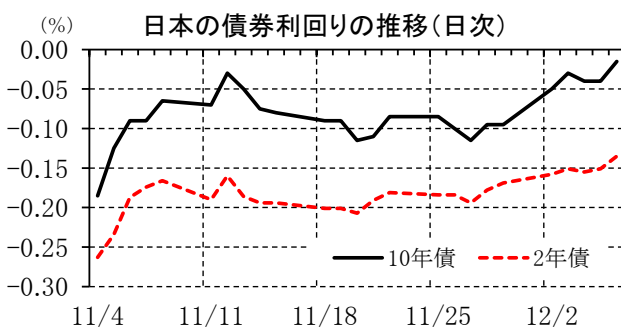
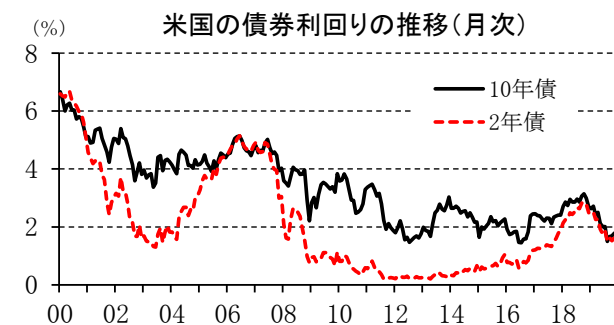
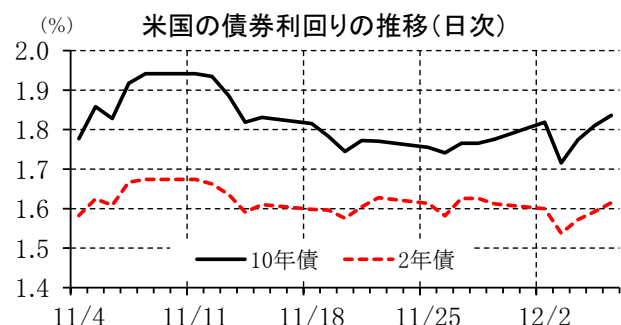
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

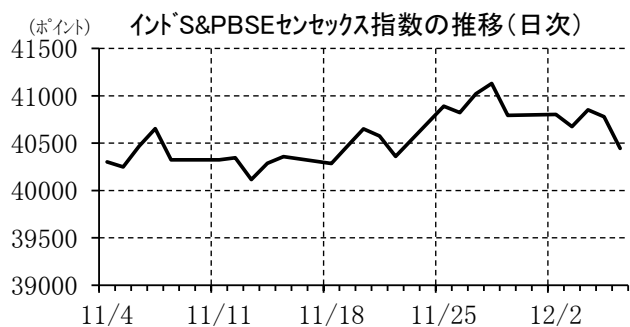
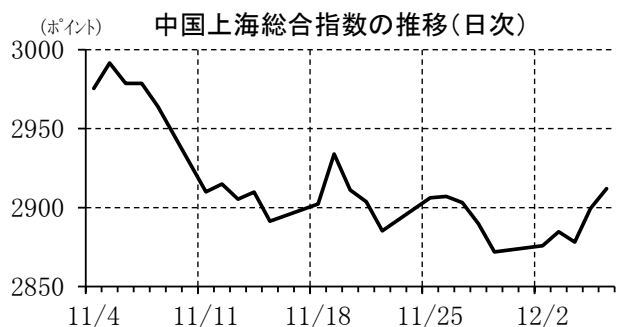
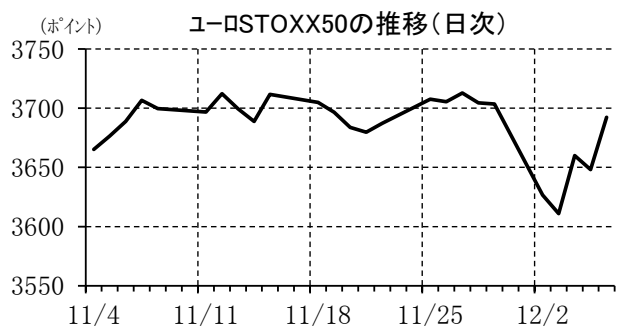
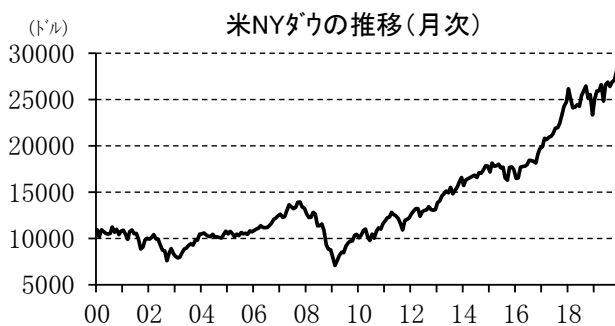
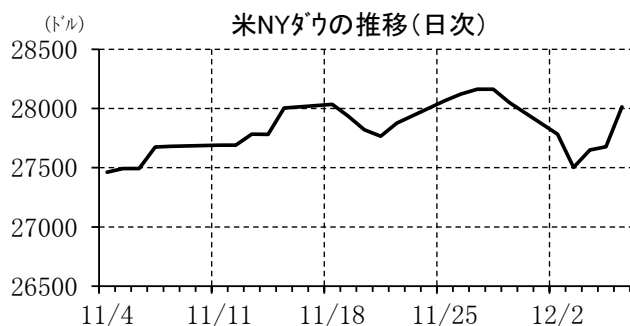
発表日	イベント	注目度	備考
12月9日(月)	WTO一般理事会（～12/11）		
12月10日(火)	-		
12月11日(水)	-		
12月12日(木)	日本：雨宮日銀副総裁記者会見	★	
	英国：総選挙	★★★★	
	EU：首脳会議	★	
12月13日(金)	米国：NY連銀総裁講演	★	
12月14日(土)	-		
12月15日(日)	米中追加関税引き上げ発動	★★★★	

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

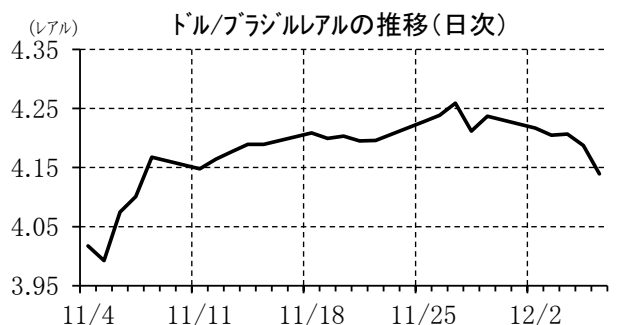
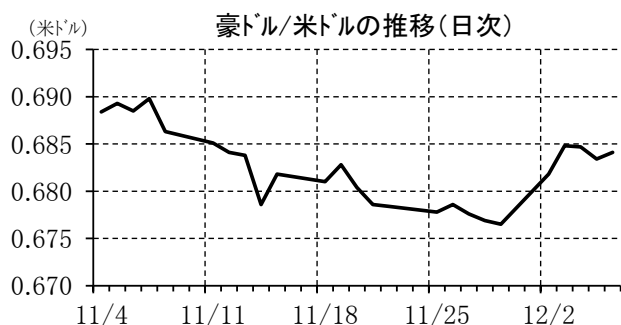
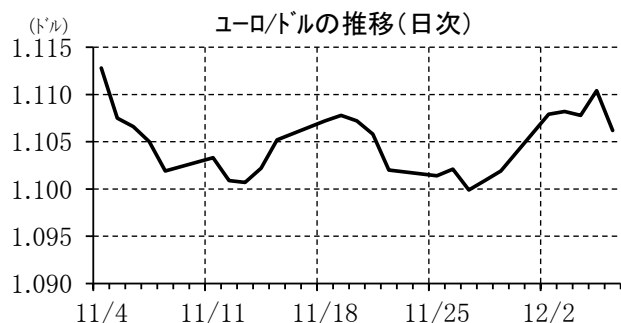
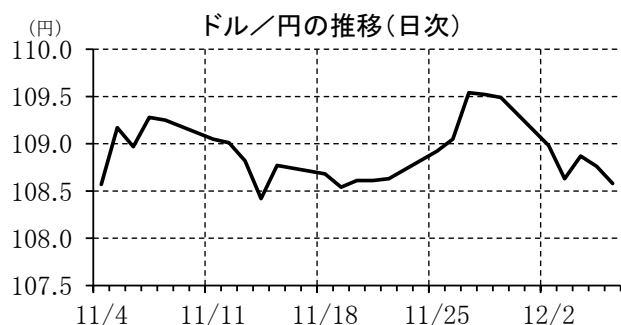
【債券利回り】



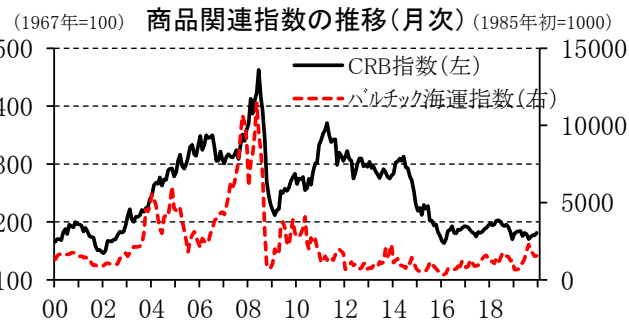
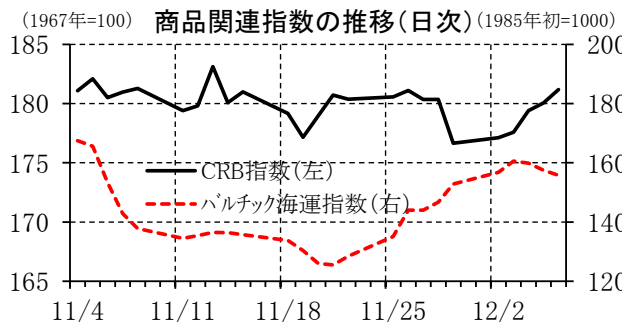
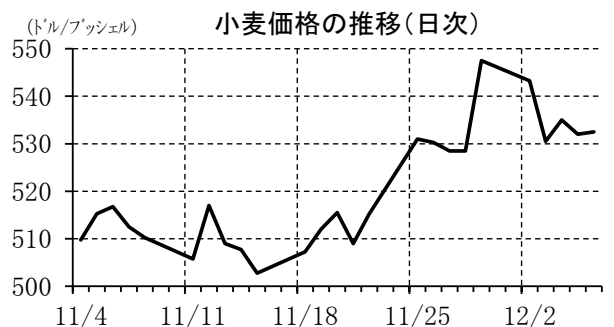
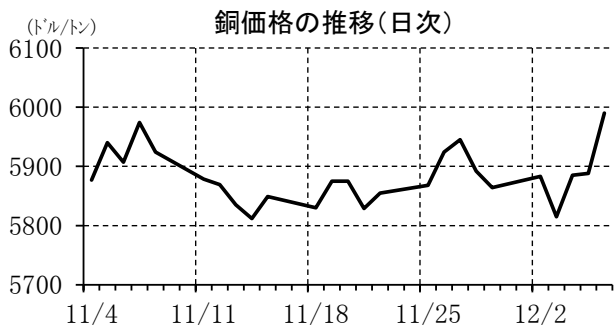
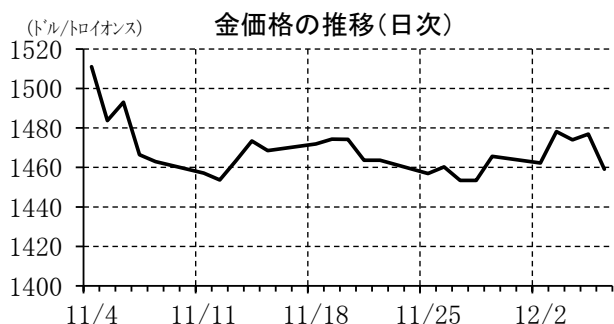
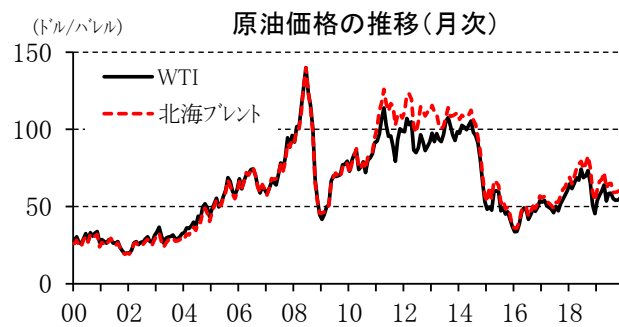
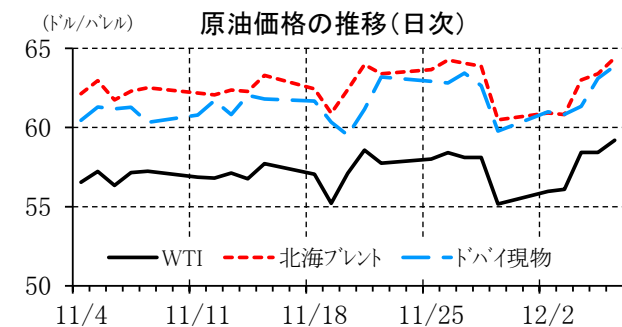
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

